

しまだちのうちかんきょうをまもるかい

島立農地・環境を守る会（松本市）

・組織の活動面積 A= 279.75 ha
・組織の構成員数 約 550 人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) □	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成26年～	—	平成26年～

構成員

島立営農組合「豊稔の郷」組合員・JA松本ハイランド島立支所農家組合組合員・梓川土地改良区・島立農作業ヘルパー組合 など

組織の概要

島立は中央道松本インターチェンジのある地区で、古くから交通の要所となっている地域です。市街地にも近いため、近郊型農業として園芸野菜生産で発展し、梓川の豊かな水系を利用した稲作と施設キュウリ・トマトの産地として有名です。

「島立農地・環境を守る会」は島立地区の全域(10集落)を対象とした活動組織で、平成26年度からの取組み始めたため活動組織としてはまだ未熟で、検討課題が多いのが現状です。しかし、農地維持活動の草刈共同活動や水路の泥上げ作業などは地域活性化と地域貢献につながっています。また、長寿命化にも取り組んでいるため、水路・農道の補修と改修は地域農業の生産基盤確保に貢献しています。

年5回の草刈共同活動で農地維持、地域の絆も深まりました。



役員会で活動内容について検討しています。



草刈共同活動は、早朝から実施しています。個人で対応していた箇所も、毎回90名前後の参加者により実施するため、効率よく草刈作業が進みました。



年5回実施しているので雑草も短い状態が維持され、彼岸花がきれいに咲くところもあります。



水路の泥上げ作業は止水期に排水路を主に行っています。長い間に堆積した泥で水路が見えなくなりましたが、共同作業により水路がよみがえりました。堆積した泥の状態によっては重労働の作業になりました。

